

Handsome

発行人:鳥取県西部中小企業青年中央会 会長 福田一哉 編集責任者:植田寿雄 制作・編集:メディアコミュニケーション委員会 印刷所:東京印刷株

次年度会長決定!!



中田 耕治

～プロフィール～

誕生日/血液型

1962年12月21日生

射手座のB型

家族構成

妻・子ども(息子)4人・父・母で

8人家族です。

妻に言わせると、「私が1番手のかかる子ども」だそうです。

趣味は仕事ですが、最近、粘土をこねたり削ったり、日夜いろいろ物作りに励んでしまい、趣味が仕事かわらなくなってきています。天気の良い日、いつ止まる(壊れる)とも知れないような車で恐る恐る走っている時が楽しい(1人の)ひとときです。「そげな車、捨ててしまえ!」とよく言われますが…。

この度、第33期鳥取県西部中小企業青年中央会会長に承認いただきました中田耕治です。よろしくお祈いします。

2月の臨時総会決議以後、次年度会長と言う事にムズ痒さを感じる半面、日に日に大きな責任のプレッシャーを感じているこの頃です。福田会長より次年度会長をとのお話をいただいた時、自分自身が驚きでした。入会年数、活動経験も浅い私が「なんで?」というのが実感でした。当初、妻には『受けないよ』と言っていたので、えらく怒られたのは言うまでもありません。ただ自分が何を求めて青年中央会の門を叩いたかと言うことを、今一度考えることも出来ました。「多くの人と出会い、刺激をもらい、自らの糧とすること」青年中央会は多くの機会を与えてくれます。懐の大きな会ということを改めて実感しています。青年中央会は“大人の会”“自由な発想で何をしていても良い会”とよく言われます。先輩方の築かれた歴史と伝統、地域への思いを踏襲しつつ会を通じ、会社や地域で志を持ち誰もが主役となれるような会を会員の皆さんと共に「これから」に向けて活動していきたいと思えます。至らない点多々あるかと思いますが、何卒皆様のご指導ご鞭撻いただきます様お祈いします。

2月例会開催 “ecoビジネスへの挑戦”



平成19年2月15日(木)ホテルサンルート米子においてエコチャレンジ委員会担当による2月例会と臨時総会が開催された。

臨時総会で中島副会長の議長の下、福田会長より次年度会長に中田耕治副会長が推薦され、満場一致で承認された。

例会の冒頭、福田会長より環境ビジネスに関連し、「様々な投資により環境は良くなりつつあるが、今我々が取り組まないと世界が滅びていく現状がある。また、環境問題と似た状況として、我々自身の会社がどんなに順調であっても、気がつかないうちに悪化していることがあるのではないかとしっかりと将来を見据えていく必要がある。」との言葉があった。

続いて新入会員の竹谷友成会員に福田会長よりバッジ・会員手帳の授与が行われ、竹谷会員が入会にあたって熱いメッセージを述べた。

講演は、株式会社エコマ商事の石田康雄社長を講師にお招きし「環境ビジネスについて」と題して講演いただいた。講演に先立ち、エコチャレンジ委員会 木下委員長より「環境保全=ボランティアとっていないか? ボランティアは経営資源が脆く持続しづらい。持続にはビジネスとして捉えなければいけない。」と趣旨説明があった。

講演で、石田社長は『ほとんどの自治体で分別回収がされているPETボトルのキャップに目を付けた。このPETボトルのキャップのリサイクルによる当社の資源循環型事業は環境庁平成17年度エコ・コミュニティ事業のモデル事業として採択された。これにより、様々な環境団体との連携ができ、PETボトルのキャップ回収協賛先が全国に広がった。そしてこれらを使ってのリサイクル建材「エコマウッド」を製造した。これは木材そっくりで、軽くて耐久性に優れ加工しやすいのが特徴である。この「エコマウッド」はエコプロダクツ大賞の審査委員長特別賞(奨励賞)を受賞し、公園や屋外施設の床材や屋上緑化の枠材として活用されている。』と説明され、『これからは私の本格的な勝負だ。成功できる秘訣は分からない。ただ途中で投げ出さなければ、成功する可能性は高い。新しいことをするにはいろんな障害が出てくるが、人脈をフルに活かすこと、これが非常に有効である。競争はグローバルだ! チャレンジ精神を持って欲しい。失敗は必ず失敗だけで終わらない、成功への階段である。』と熱い想いで結ばれた。

委員長タイムでは、地域スクラム委員会の土岐委員長が「スポーツ少年団」を通してのご自身の経験を踏まえた青少年育成の素晴らしさが語られた。

こうして、次年度会長決定など内容の濃い2月例会は興奮冷めやらぬうちに幕を閉じた。(記事:内藤)





委員会 BunBun 訪問

～ 委員会は会議室だけでやっているのではない… 現場でもやっているのだ!! ～



● ビジネス交流委員会 ●

平成19年2月16日(金)米子食品会館においてビジネス交流委員会による2月オープン委員会が開催された。講師に第27期卒会 堀田石油株式会社代表取締役社長 堀田収OBを迎え、演題は「地域・経営・中央会」と題された。企業の経営理念、新たな事業展開など、

ビジネスのヒントとなり得るようなさまざまなお話が伺えた。

年々、サービスステーションが減少している厳しいエネルギー業界にあって、それまで利益追求型からお客様本位でサービス自体を見直しているという堀田OBは、新たな事業展開として「最高のサービスを提供できるよう様々な専門家を育成している。」と語られた。

経営については「できるだけ物事をオープンにする。やる気・やりがいを持って働いてもらえる社内環境を整えること」とし、特にやる気・やりがいについては社員の目標設定をどのくらいにするかが重要だと語られた。

「自分の山は自分で登れるようにする」つまり、到底達成できない目標を立てるより現実的な目標をたてるほうがやる気ややりがいにつながるというものだ。

終わりに中央会について、「外部から講師を招くのもいいが、もっと会内でいろいろな商売の話をしてほしいのでは？自分の商売や仕事のことをお互いに話し、切磋琢磨することも大切では？」と語られた。

このオープン委員会は業種は違えど、自分の会社や仕事にも活かせるお話がいくつもあったように思う。これもひとつの異業種交流と言えるのではないだろうか？ (記事:本池)



● 地域スクラム委員会 ●

平成19年2月8日(木)第8回地域スクラム委員会が国際ファミリーブラザにおいて開催された。8月の委員会訪問につづいて2回目となる今回は、株式会社SC鳥取 代表取締役塚野真樹氏をお迎えした、現在のガイナレ鳥取についての講演に訪問した。



冒頭、塚野社長より「今日私がここに座っているのは、“ああやっぱり応援してやらんといけん”と皆さんに思ってもらえることが最大の目的です。」と挨拶があった。現在、ガイナレ鳥取はJリーグへ上がるため「Jリーグ準加盟申請」をしている最中であり、2月20日に結果通知が来るとのことである。

ご講演の中で特に印象的だったのは、塚野社長が今まで多くの方々とお会いされた中で、大きく分けて五つの座標軸があるということである。それは、「東部か西部か。」「官か民か。」「サッカーか野球か。」「トップダウンかボトムアップか。」「仕事かボランティアか。」という座標軸である。ガイナレ鳥取はJリーグへ上がるんだという事をすでに決定している中、彼らにとっての座標軸は「やるかやらないか」ということだけである。Jへ上がるためにはクラブの株式会社化、ホームスタジアムの優先使用権の確保、ホームタウンからのバックアップ体制がもっとも重要な前提条件であり、スタジアムのある鳥取市を拠点とすることは必然であると考えるのは当然のことであるかもしれない。

平成19年2月1日、チーム名は「SC鳥取」から「ガイナレ鳥取」に変更された。鳥取市を拠点とせざるを得ない状況の中、あえて「ガイナレ(おおきなあれの意)」という鳥取県西部の方言を採用されているその意味を我々は考えなくてはならない。

「Jのある街」がどのような発展を遂げるのか？そこに住む人々のくらしがどう変わっていくのか？我々、鳥取県西部地域の経済人が考え、行動すべきことは多分にあるように思われる。

今シーズンは3月18日(アウェー)に開幕する。ホームゲーム17試合中、米子で開催されるのはわずか4試合。西部での試合数は少なくなるが、子供をつれて応援に行ってみようと思われられた地域スクラム委員会訪問だった。

追伸：2月20日(火)「Jリーグ準加盟申請」が認められた事が「2007年SC鳥取 決意を聞いて頂く会」(ふれあいの里)で報告された。(記事:岩田)

PLAYBACK 中央会 -あの頃僕は若かった！-



第19期卒会 宇佐見 明OB

Q. 印象深い思い出は？

A. 入会時に、役員会でそうそうたる顔ぶれの前での面接に緊張したことだね。裁判で被告席に立ったかのようなだったよ。また、会長時代に会員数が198名になり、200名達成を意識した頃、第5次米子市総合計

画策定にあたり、審議会委員・中央会代表として参加したことも忘れられないね。

Q. 中央会を一言で言うと？

A. 人のつながりだと思ふ、このことは今現在にいたっても大変ありがたいことだと思ふよ。(ただし、活動に損得抜きで積極的に参加すればの事だ)

Q. 中央会活動で、会社経営に反映していることは？

A. 最近は現会員で知っている人が少なくなっており親しく交流する機会がないが、19期卒会者19名でつくる「とくとく会」での交流は続いている。(総会、交流会など)機会あるごとに現役・OBが集える会に参加するよう心がけているよ。

Q. 現役会員に一言お願いします。

A. 現役時代に松田一三先輩が『数は力、しかし烏合の衆になるな』と言われた事をよく覚えている。性格も考えも違う人間同士の集まりは時として軋轢を生じることもあるが、綱領に照らし行動して欲しい。しかしその活動は、健全な企業経営の上に成り立つもの、経営指針を成文化して地域社会に貢献できる「良い経営者、良い会社」になる努力を忘れてはいけない。

宇佐見OBにおかれては、大変忙しいスケジュールの合間を縫って取材させていただきありがとうございました。一部紙面の都合上割愛させていただいております事をお詫びいたします。

卒会されると、ほとんどのOBは縁遠くなってしまいます。OBの方々も総会や交流会にぜひいらしていただきたいと切に願っております。(記事:桑本)



某月某日、中華料理 大連で、人の体をしたなにやら怪しい、 入会年度の浅く腹を空かした動物たちが“ギョウザ”をもとめて集まった。

MCウサギ(以下ウサギ): みなさんこんにちは。本日はにぎやかに本音トークで、活発な意見をお聞かせ頂いたらと思います。まず最初に、入会前の中央会に対するイメージと入会後のイメージをお聞かせください。

タヌキ: まず、何をしているとこなのか全く知りませんでした。友人が入会していたので、『中央会ってどんな事するの?』って聞いてみたんですけど、『まーええけん! 勉強になーけん、まーはいれや!』という感じでほとんど情報がないまま入会したんだがん。

パンダ: 僕の場合は、卒会者が身近にいたんですけど、とくに中央会についての話もしてなかったんですけど、突然会社から『中央会で勉強してこい』と言われ、気付いたら役員会の面接会場だったんだよなー(笑)

フタ: 僕もそんな感じです。前任者が転勤で、その後任で入会したのですが、ほんと忙しいときに中央会で抜けていたので、『忙しい会なんだなあ』と思ってました。

ウサギ: みなさんほとんど中央会に対しての予備知識・情報がなかったんですね。

ソウ: 私も先輩が入会されていたんですけど、『今日は中央会だから』と胸にバッチ付けて18時すぎに颯爽と出て行かれる姿や、会の資料などが会社にFAXで届いたり、仕事以外で『なんか大変だな』とか『ハンサム! ??? 男前の集団か?』みたいな印象はありました。先輩の声は『顔を覚えてもらって、将来の役に立てばいいから』と送り出していただきました。

ウサギ: 入会後はどうですか?

パンダ: 普段あまり接することのない方や、業種の違う方々と話をする機会を与えていただいたのは非常によかったと思います。ひとつの物に対しても見方や感じ方それぞれ違うし、自分には無い発想を聞くことが出来る。自分にとって財産が出来たな! ?と思った。

動物一同: お〜ッ!!

タヌキ: あと、現役だけじゃなく、OBとの交流も出来るしね。

ソウ: ぼくは正直、#%*@が集まって、真剣に@○☆#\$%をしているんだなと思いました。

動物一同: お〜ッ!? 言うねーッ!

アライグマ: 最近先輩方とお話させていただくことが多いのですが、過去の歴史のなかで、素晴らしい物をたくさん作っておられるのに、あまり我々が目にする機会が少ないのが残念です。今まで培われたことをもっと知りたいですね。

フタ: わたしは、もっと具体的にビジネスが出来る場だと思っていましたが、人脈をつくってから「あとでついてくるんだなあ」と思いました。

ウサギ: 入会したきっかけはそれぞれ違いますが、同じフィールドで同じ目標に、これだけの異業種が団結してやり遂げることはとても素晴らしい事だと思います。みなさんまだ入会して間もないですが、これから先とても貴重な体験が待っていると思います。英知・友愛・団結をキーワードに、トライ&チャレンジしてゆきましょう。

飼育係: この後も、臭く長く熱いトークが繰り広げられ、ギョウザを堪能した動物たちは満足げに闇に消えていったのでした。
(記事: 飼育係 1号)



アザレア 杉山の 役立つ豆知識

私たちは日常的に裁判を仕事としていますが、一般的には裁判はなじみがないものと思います。そこで、一般の民事裁判を前提として、よく尋ねられることについて書いてみたいと思います。

○正しければ勝つ?

残念ながら必ずしもそうではありません。裁判は一定のルールの中で、法的な主張をし、証拠を出し合い、その量や内容で勝敗が決まります。いかに正しいことであっても、また、当事者の方や弁護士がそう思っているにもかかわらず、証拠が無ければ勝てません。言葉では簡単ですが、当事者の方にはこの点がなかなか理解していただけないところです。弁護士としては「個人的には正しいと思うけど法的根拠や証拠がない、足りない。」という事件はつらい仕事です。

○時間がかかる?

たしかに裁判は時間がかかります。争いのある事件では、判決が出るまで短くても半年、通常は1年程度はかかるでしょう。これでも数年前よりはるかに早くなりました。もっとも、全ての事件で判決までいくものではありません。私の経験では(弁護士の方針によってもだいぶ違いますが)、6~7割程度は、

和解・その他で終了します。この場合、早ければ数ヶ月で終了します。

○費用がかかる?

裁判にかかる費用は大きく分けて裁判自体にかかる実費と依頼する弁護士に支払う報酬です。

実費には郵便切手代やコピー代等が含まれますが、大きいのは訴状に貼る印紙代です。100万円相当の請求で1万円、500万円の請求で3万円、1000万円の請求で5万円、5000万円の請求で17万円が第一審の印紙代です(控訴審、上告審はそれぞれ約1.5倍、2倍)。

弁護士費用は、現在、自由化されているので弁護士によって支払方法、金額は異なります。多くの弁護士の場合、依頼する際の着手金と勝った場合の成功報酬に分かれており、争いの金額にもよりますが、請求金額の5~8%程度が着手金、10~16%が成功時の報酬がおよその目安です。

通常は、裁判に時間がかかったからといって、追加の着手金や費用を請求されることはありません。

この費用を高いと感じるかどうかは、事案の内容、依頼する方の立場や経済的事情によって異なるでしょう。

費用については、相談する弁護士に最初に聞いておくべきだと思います。最近では見積書を渡す弁護士も増えています。

(米子アザレア法律事務所 代表 杉山 尊生)

2月度委員会報告

総務委員会

平成19年2月13日(火) 於:米子ニューアバンホテル 出席者/14名
 議題・下期の活動方針について
 ・4月担当レクリエーション例会について
 4月22日(日)、日南町にて行う

エコチャレンジ委員会

平成19年2月8日(木) 於:米子ニューアバンホテル 出席者/8名
 議題・2月担当例会について打ち合わせ
 ・今後の委員会取り組みについて打ち合わせ
 講演、視察など行いまとめていく

ビジネス交流委員会

平成19年2月7日(水) 於:米子食品会館 出席者/9名
 オープン委員会
 講演:「境港経済の現状と将来」「企業経営について」
 「中央会活動について」
 講師:堀田収氏(境港商工会議所副会頭、堀田石油(株)代表取締役社長、当会OB) オブザーバー出席 7名

メディアコミュニケーション委員会

平成19年2月6日(火) 於:ぶどうの木 出席者/14名
 議題・ハンサムについて
 3月号ハンサムはA班が主体となり企画
 ・HPについて 新型ファイルボックスは四役会、3月役員会で取り扱い説明他

・中央会番組について 映像内容を決定。映像班を中心に実務作業に移る

政治行政委員会

平成19年2月8日(木) 於:まつだ家 出席者/8名
 議題・駅周辺の誘致について
 ・5月頃のフォーラム開催を目指す
 わくわく発掘委員会との合同委員会 意見交換

わくわく発掘委員会

平成19年2月9日(金) 於:まつだ家 出席者/11名
 議題・3月担当例会打ち合わせ
 役割分担 分担スケジュール表にて確認を行う
 政治行政委員会と合同委員会 意見交換

地域スクラム委員会

平成19年2月8日(木) 於:国際ファミリープラザ/9名
 議題・各検証リーダーより検証活動説明
 講演:ガイナール鳥取 塚野真樹氏

夢委員会

平成19年2月5日(月) 於:米子ニューアバンホテル 出席者/9名
 議題・担当例会打ち合わせ(事業内容案)
 ・講師先生の講演 ・ワークショップ ・議論、討論

※役員会報告、連絡事項、会員拡大の件は各委員会とも行われています。詳細については各委員長までご参照ください。

委員会活動と県青中の動きは、ホームページに掲載していますので、詳しくは、中央会ホームページをご覧ください。

<http://www.tsc-west.gr.jp>



新入会員

「コピーして名簿にお貼りください」

	おに かに とも せり 竹谷 友成	A型 課長
	(株)竹谷保険事務所 損害保険及び生命保険代理業 〒683-0102 米子市和田町3635-1 TEL 0859-48-2181 FAX 0859-48-2182 (KT) 090-7990-2659 (EM) take3818@chukai.ne.jp S 51.3.18生	

「コメント」2月より入会させていただきました、(株)竹谷保険事務所の竹谷と申します。若輩故、まだ地域貢献などとは申せませんが、会員として活動していく中で、せめて周りの人や縁のある方々の役に立てるような力を身につけ、器が大きいのといわれる人物にはなれないまでも、何とか巨大なザルくらい!?の人物にはなりたくてお思いますので、皆様のご指導ご鞭撻の程、よろしくお願ひします。趣味はスポーツ観戦、映画鑑賞、食べること(スイーツいろいろ)また、最近は素人ながらサッカーやバドミントンなどをしています。

3月ハンサム編集後記

3月を迎えましたが、今年は雪が非常に少なく、全国的にも暖冬とのこと。雪が少ないのは温暖な気候の尾道出身である私にとっては大変ありがたいものですが、冬物衣料品などが売れないなど景気にはマイナス作用で、深刻な影響を受けている会員の皆様方も多いことかと思ひます。最近ではゴルフ場や遊園地などでは業績が天候に左右されぬよう、天候デリバティブ(保険の一種)が導入されていますが、興味ある方は御一報下さい。(記事:村上)

所属企業変更

ウェルネスコーポレーション(株)
 鶴田彦彦 会員
 ウェルネス・インほうき路 支配人
 住所:〒683-0002 米子市皆生新田3丁目22番12号
 ☎23-2800 FAX28-2885
 (旧:ホールサムインかいけ)

企業内容変更

有限会社キタグチ
 北口智明 会員
 住所:〒683-0103 米子市富益町63-8
 ☎28-7179 FAX28-7179
 (EM) kita-t@hi.enjoy.ne.jp

社名変更

新社名:リーガルアライアンス
 米子アザレア法律事務所
 杉山尊生 会員
 (旧社名:アザレア法律事務所)

3月役員会報告

3月定例役員会が平成19年3月1日(木)米子食品会館にて開催されました。当日の主な議題は以下の通りです。
 ・2月例会報告の件
 ・3月例会報告の件
 ・下期予算作成並びに検討の件
 ・HPファイルボックスの件
 ・その他

3月例会案内

と き:平成19年3月16日(金)
 18:30~開会
 ところ:米子児童文化センターならびに米子城跡
 プラネタリウムでの星空体験ツアーと
 米子城跡での米子の夜景を望む体験
 担 当:わくわく発掘委員会

